

KEIO AREA OPEN INNOVATION PROGRAM

衣類循環型社会のインフラ構築を目指し、 駅・施設での古着回収の実証実験を開始します！

京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、代表取締役社長：都村 智史、以下「京王電鉄」）と、株式会社ヒトカラメディア（本社：東京都世田谷区、代表取締役：高井 淳一郎、以下「ヒトカラメディア」）は、2023年10月より開始した、外部パートナーとの共創により地域の課題解決や価値創出を目指す、エリアを起点とした事業共創プログラム KEIO AREA OPEN INNOVATION PROGRAM「ROOT（ルート）」（以下「本プログラム」）の採択企業である株式会社 FASHION X（本社：東京都大田区、代表取締役：畠山 怜之、以下「FASHION X」）と共同で、衣類循環型社会のインフラ構築を目指した実証実験として、5月8日（水）から古着の回収と回収した古着をリユース・リサイクル・アップサイクルする取り組みを実施します。

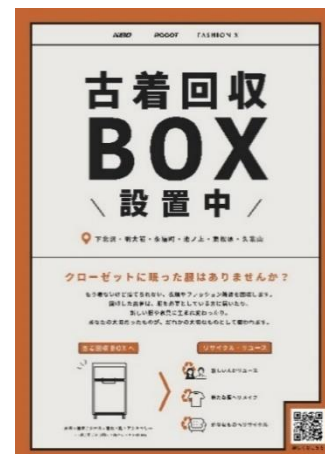
まずは、古着の街として有名な下北沢をはじめ、京王線・井の頭線の一部の駅・施設において、専用のボックスを設置し、古着の回収を実施します。回収した古着は、リサイクル品として転用していくほか、今後、京王沿線の様々な場所でリユース品として循環させる仕組みをつくります。将来的には、様々なクリエイターなどと連携したアップサイクルを行い、衣類循環型社会のインフラ構築を目指します。

本実証実験を通して、駅・施設で回収した古着の活用方法を検証し、回収した古着のリユース・リサイクル・アップサイクルを実施することで、衣類循環型社会のインフラ構築を目指し、資源・エネルギーの節約やCO2の削減による地球環境の負荷低減、駅利用の新たな価値創出に寄与します。

詳細は下記のとおりです。



《回収BOXのイメージ》



《ポスターイメージ》

1. 古着回収の実証実験について

(1) 概要

沿線や駅施設で古着を回収し、リサイクル品として転用していくほか、今後、京王沿線の様々な場所でリユース品として循環させることで、地球環境の負荷低減、駅利用の新たな価値創出に寄与します。まず初めに、古着の街として有名な下北沢をはじめ、京王線・井の頭線の一部の駅・施設において、古着を回収し、回収した古着をリユース・リサイクル・アップサイクルする取り組みを実施します。

リユース：一度使用したものを捨てずに繰り返し使うこと

リサイクル：使い終わったものをもう一度資源に戻し製品を作ること

アップサイクル：本来は捨てられるはずの製品に新たな価値を与えて再生すること

(2) 実証実験開始日

5月8日（水）から

(3) 古着回収ボックス設置場所

- ①ミカン下北A街区2階エレベーター前
- ②明大前駅改札内 2番線ホーム連絡通路
- ③永福町駅改札外 南口1F部
- ④池ノ上駅改札外 エレベーター横
- ⑤東松原駅改札外 西側出口方面コンコース
- ⑥久我山駅改札内 改札階コインロッカー横

※回収ボックスへ投函可能な時間は、①は9：00～22：00、②～⑥は各駅の初電から終電までとなります。

※設置場所の詳細は下記をご確認ください。

URL：<https://mikanshimokita.jp/special/?cd=000011>

(4) 古着の回収ルール

- ・洗濯後の衣類をお出しく下さい（クリーニングは不要です）
- ・紙袋・ビニール袋・ポリ袋に入れてお出しく下さい
- ・事業者から排出される古着類（作業着等）は回収不可となります

【回収できるもの】

- ・再使用できる衣類（汚れ、破れ、シミはNG）
- ・フェイスタオル、バスタオル
- ・ネクタイ、スーツ（上下セット必須）
- ・小物類（帽子、スカーフ、マフラー）
- ・カバン、財布、アクセサリ類
- ・着物、帯

【回収できないもの】

- ・汚れ、やぶれ、シミ、穴の開いた衣類、ほつれたものなど
- ・靴、靴下、下着、生地
- ・布団、座布団、布団・座布団カバー、シーツ、枕、ベッドマットなどの寝具類
- ・絨毯、カーペット、足拭きマットなどの敷物

(5) 注意事項

- ・ゴミなどを含む、回収できるもの以外の回収ボックスへの投函や回収ボックスの中身を触るなどの行為は禁止します。
- ・その他の駅・施設利用者に迷惑となる行為は禁止します。

2. 本実証実験に関するお問い合わせ先

Mail: open-innovation@keio.co.jp

以上

【参考1】KEIO AREA OPEN INNOVATION PROGRAM「ROOT（ルート）」について

京王電鉄の資産や関連する人・企業・場所などを活かしながら、地元商店街や町会をはじめとした地域の事業者・団体とも連携して、スタートアップ企業等の外部パートナーとともに新たな事業やサービスを創出し、地域の価値を向上させることで沿線の価値向上につなげる、エリアを起点としたオープンイノベーションプログラムです。第一弾は下北沢を舞台に実施し、2023年12月の最終審査会にて5件の提案を採択しました。順次実証実験を開始し、事業化を目指しています。公式サイト URL: <https://keio-innovation-shimokita.com/>

KEIO AREA OPEN INNOVATION PROGRAM

ROOT

《KEIO AREA OPEN INNOVATION PROGRAM「ROOT（ルート）」のロゴ》

【参考2】京王電鉄によるオープンイノベーションの取り組み

京王電鉄では2022年度から、スタートアップ企業をはじめとした外部パートナーとの共創によるオープンイノベーションプログラムを実施しています。

また、成長領域の探索を目的とし、これまで複数のVCファンドへの出資を実施しています。

公式サイト: <https://www.keio.co.jp/company/environment/keio-open-innovation/index.html>



《京王オープンイノベーションプログラムメインビジュアル》

【参考3】株式会社ヒトカラメディアについて

- (1) 会社名 株式会社ヒトカラメディア
- (2) 代表者 高井 淳一郎
- (3) 所在地 東京都 世田谷区 北沢 2-5-2 下北沢ビッグベンビルB 1 F
- (4) URL <http://hitokara.co.jp>
- (5) 設立 2013年5月
- (6) 事業内容 オフィス移転サポート、空間プランニング、ビルオーナー支援、レンタルオフィス・レンタルスペース運営、まちづくり事業

【参考4】株式会社 FASHION X について

- (1) 会社名 株式会社 FASHION X **FASHION X**
- (2) 代表者 畠山 怜之
- (3) 所在地 東京都大田区池上 7-2-7
- (4) URL <https://fashionx.jp/>
- (5) 設立 2023年7月
- (6) 事業内容 地域で古着回収を行い、アップサイクル家具制作、リユースリサイクル活用等を行う事業を展開